




住宅用火災警報器 について

令和4年7月5日（火）

松山市女性防火クラブ連合会防火研修会

本日の内容

- 1 DVD視聴
 - 2 松山市の現状
 - 3 奏功事例
 - 4 設置・維持管理を進める
- 

1 DVD視聴

住宅用火災警報器と消火器の重要性

(16分)



2 松山市の現状

条例適合率の推移：設置が義務付けられている住宅の部分（寝室・階段室）のうち、
全てに設置されている世帯の割合

発表日	全国平均	愛媛県	松山市	伸率	火災件数	出火率
平成28年6月	66.5%	70.8%	87.0%		122	2.4
平成29年6月	66.4%	70.4%	88.0%	+1.0	137	2.7
平成30年6月	66.5%	68.2%	84.0%	-4.0	119	2.3
令和 元年6月	67.9%	66.8%	82.0%	-2.0	129	2.5
令和 2年7月	68.3%	68.5%	83.0%	+1.0	113	2.2
令和3年6月	68.0%	68.7%	83.2%	+0.2	113	2.2

2 松山市の現状

全国・愛媛県平均を上回っているが、
設置率（条例適合率）は停滞している

完全義務化（平成23年6月）から10年以上経過
設置済みのご家庭は電池切れ、機器の故障が心配

2 松山市の現状

令和3年松山市火災件数	113件
住宅火災	56件

火災の発生した住宅
住宅用火災警報器の設置率は、**46.4%**（設置26件/56）



※ 30件の住宅が未設置

設置済みの26件のうち、22件は火災の**部分焼かぼや**
早期に初動対応が取られたことで被害が少なくなっている

3 奏功事例

火元住民が早期に火災に気づき、初期消火に成功した事例

共同住宅の一室で、火元住民が調理中に睡眠、調理中の鍋から出火した。火元住民が警報音に気づき目を覚まし、初期消火を実施、消火に成功した。

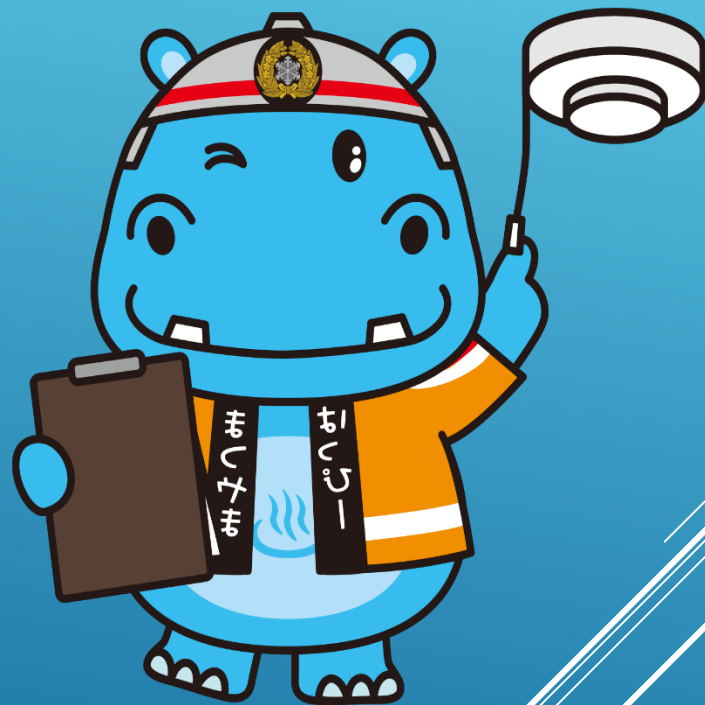


近隣住民が発見し、火災を未然に防いだ事例

一般住宅で、火元住民がこんろの火を消し忘れて外出、鍋から煙が発生した。近隣住民が警報音に気づき、119番通報を行い火災を未然に防いだ。

4 設置・維持管理を進める

- ・ 地域での働きかけ
- ・ 支援体制
- ・ 積極的な広報



4 設置・維持管理を進める

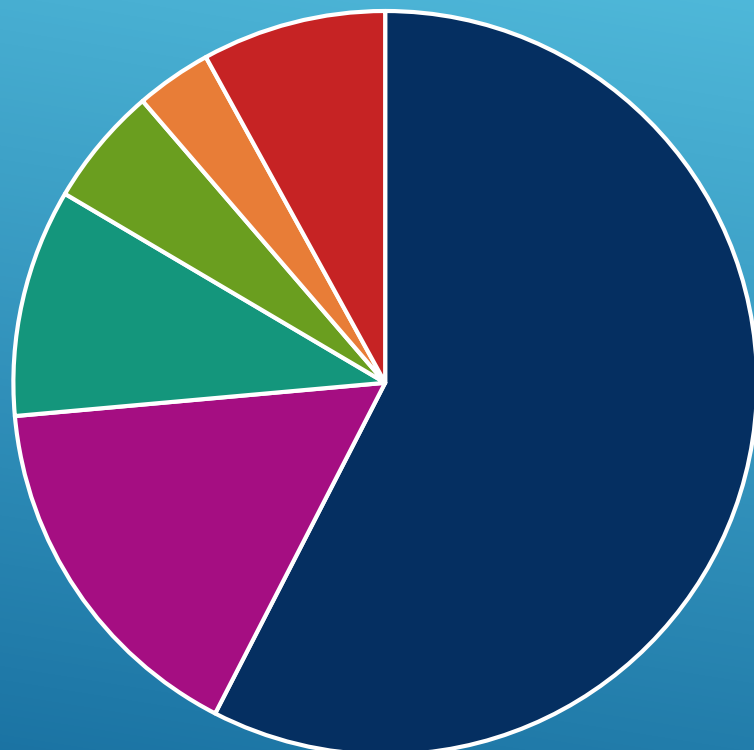
共同購入

- ・ 個人個人で購入するよりも、購入の手間が軽減
- ・ 高齢者世帯への取付け支援など、購入後の設置もご近所で協力
- ・ ご近所で同じ警報音を発する住宅用火災警報器を設置することで、火災の際に近所の方が気づきやすくなる
- ・ メンテナンスもご近所で協力
- ・ 交換時期がご近所で同時期になるため、交換もスムーズに実施
- ・ まとめて購入することで、価格交渉次第で安くなることも
- ・ 共同で購入すれば、悪質販売の被害も防止

4 設置・維持管理を進める

未設置の理由

なぜ設置しないか？？？



□ 設置が面倒

□ 罰則がない

□ 価格が高い

□ 効果に疑問

□ 時間がある

□ その他

先進消防本部アンケート

4 設置・維持管理を進める

▼壁面からの取付位置

火災警報器の中心を壁から60cm以上離します。



【天井の場合】

▼梁などがある場合の取付位置

火災警報器の中心を梁から60cm以上離します。



▼エアコンなどの吹き出し口付近の取付位置

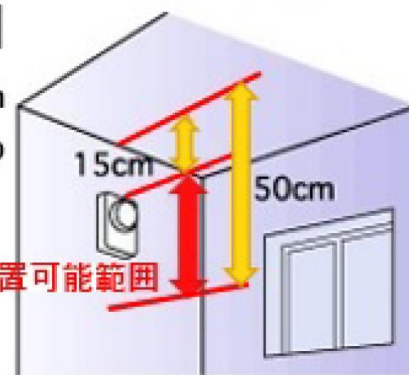
換気扇やエアコンの吹き出し口から1.5m以上離します。



【壁面の場合】

天井から15~50cm以内に火災警報器の中心がくるように取り付けます。

設置可能範囲



4 点検と交換

定期的な作動確認



点検ボタンを押す
点検ひもを引く
定期的に作動確認

作動確認をしても反応がなければ、本体の故障か電池切れです。
本体または電池を交換しましょう。

古くなったら交換



製造年月日を確認

製造から10年を超えるものは新規に交換しましょう。

点検ボタン



電池

点検ひも





火災予防と普及啓発をお願いいたします！